

♪ 2018年度 **poco a poco** ♪

Nr. 2 2018年4月19日(木) 文責：プファイル・辰巳

### Er ist's! (春が来た!)

冒頭のドイツ語は、ドイツの詩人エドワルド・メーリケの詩の題名です。Er は Der Frühling(春)のことを指しており、長い冬を経てやってきた春の訪れを、美しい言葉で綴った詩です。作曲家のシューマンやヴォルフがこの詩にメロディを作曲して、美しいドイツ歌曲に仕上げています。冬が厳しく長いだけに、ドイツに住む人々にとっては春の訪れには格別の喜びが感じられるのでしょう。



ここ数日は初夏のような暑さでした。木々の緑もメキメキと音をたてるかのように、一日一日瑞々しさを増してきました。春の空気を胸いっぱい吸い込んで、音楽の時間には、みんなで元気よく春の歌をうたいましょうね!

### 音楽こぼれ話 <作曲家のこの一曲 ⑫ フーゴ・ヴォルフ ～ 歌曲 Er ist's ～>

昨年度の「ぽこあぽこ」から連載を続けております<作曲家のこの一曲>です。今年度も今しばらくこの話題にお付き合いください。ご紹介したい曲がまだありますので・・・さて、今回は冒頭でも紹介しました後期ロマン派の作曲家フーゴ・ヴォルフの歌曲「Er ist's」についてです。

ヴォルフはオーストリアの作曲家ですが、生まれは現在のスロヴェニアで、両親ともにスロヴェニア人だったそうです。ヴォルフが生まれた当時(1860年)は、この地域がオーストリアの一部であったという歴史があります。

ヴォルフは幼い時から感受性が強く、気難しいところもあり、音楽の才能には恵まれていたものの、人間関係を柔軟に築くことができなかつたそうです。音楽学校で学ぶ際にもその性格が災いして、中途退学になってしまい、ほとんど独学で勉強しました。音楽の好みにも偏りがあり、ワーグナーの音楽を信奉する一方で、ブラームスの音楽はこき下ろすなど、極端な音楽批評を残してい

ます。偏屈な性格は日常生活にも影響を及ぼし、経済的にも苦しい状況に追い込まれてしまいました。1898年にオーストリアのトラウン湖畔で自殺未遂を犯した後は、病院に収容され、狂気のうちに1903年43歳になる直前に亡くなってしまいました。晩年の様子は、ドイツの作曲家シューマンと似た境遇と言えますね。



Hugo Wolf

そんな気難し屋さんのヴォルフですが、彼の作曲したドイツ歌曲には名曲がたくさんあります。特に、1891年に作曲された「メーリケの詩集による歌曲」をはじめ、アイヒェンドルフやゲーテといったドイツの偉大な詩人たちの詩に、たくさんの曲を作曲しました。ピアノ部門ではショパン・コンクールがあるように、声楽部門ではヴォルフ・コンクールがあるほど、現在ではドイツ歌曲の作曲家としては一目置かれる存在となっています。

歌曲「Er ist's」もメーリケ詩集に含まれている曲です。冒頭にも述べた通り春の訪れを喜ぶ気持ちがストレートに表現されたテンポの速い軽快な曲です。YOUTUBEで聞いてみたい方は、若かりし頃のフィッシャー・ディスカウの演奏や現代の代表的なソプラノ歌手バーバラ・ボニーによる演奏などがおすすめです。

### ちょっとだけ 演奏会情報

- 4月25日(水) アルテオーパー 大ホールにて  
20時から ウィーンフィルハーモニーの演奏  
(残念ながら予定されていた指揮者のズピン・メータは健康上の都合で交代したそうです)  
ブラームスの交響曲 第1番 ほかの演目
- 4月28日(土) アルテオーパー 大ホールにて  
20時から ロンドン・シンフォニーオーケストラの演奏  
指揮 サイモン・ラトル  
マーラーの交響曲 第9番 ほかの演目
- 5月5日(土) Bad Homburg の Erlöserkirche (お城の隣) にて  
6日(日) 子ども(5歳以上)のためのパイプオルガンコンサート  
16時から サン・サーンス「動物の謝肉祭」